



今年の冬、日本海側は大雪でした。岩手県の友人も雪かきに苦労したようですし、福島県喜多方の友人は独居なので不安だったと言っていました。ようやくその雪も解けて春がやってきました。近年は春とともに花粉やPM2.5などの化学物質も飛んでくるので「春が来た」って素直に喜べません。

2022年もう少しになりましたが、この一年もありがとうございました。マスク生活も3年になって完全に日本人の生活習慣になりつつあります。屋外ではマスク不要といわれてもみんなが付けているのでなかなか外す勇気が出ません。

周囲でもコロナ感染の話が多いですが軽症で済んでいますし来年こそ顔出しでお話ができるようにと願うばかりです。

女性の守り神様、鳥羽市相差の神明神社「石神さん」にお参りしてきました。ひとりひとりの願いが叶いますように。



2023年、癸卯「癸（みずのと）」は1～10までの数を表す十干（甲乙丙丁戊己庚辛壬癸）の10番目で雨や露、霧など静かで温かい大地を潤す恵みの水のエネルギーを表します。そして、兎年の卯は穏やかなうさぎのイメージから安全温和で跳ね上がるので、家内安全飛躍の年になるようです。いい年になりますね。大晦日には除夜の鐘が突かれますが、心を乱し悩ませて知恵を妨げる心の汚れを表す108の煩惱を清めるためといわれています。

この108の数ですが、暦から月の数(12)と二十四節気(24)十二候(72)を足した数が108になるという説や四苦八苦4×9で36。八苦、8×9で72。足して108になるという説もあります。

鐘の音とともに一年の雑念を祓って新しい年を迎えましょう。

大晦日の行事もうひとつの年越しそばは前の年との縁を切るっていう意味があるので、年をまたいで食べないほうが良さそうです。除夜の鐘の前に



食べきりましょう。

大晦日に入るお風呂。年の湯とか除夜の湯といって一年で溜まった垢を落とすっていう意味もあるようです。元旦はひまなのでゆっくり入りたいですけど、元旦にいただく運や福を洗い流さないよう元旦の入浴は控えるのが良いとか・・・でも、入りたいですね。



そして新年になると初詣。お寺でも神社でもどちらでもいいといわれていますが年神さまもいらっしゃるし神様がお通りになる神道があるので神社にお参りする方が多いと思います。

お正月に無病長寿を願って飲まれるお屠蘇の由来は、悪鬼を「屠って」生氣を「蘇生」させるとい説があります。「屠蘇散(とそさん)」は白朮(ビャクジュツ) 山椒(サンショウ) 桔梗(キキョウ) 肉桂(ニッケイ) 防風(ボウフウ) 陳皮(チンピ)などの漢



方のほかに好みの生薬を本みりんや清酒に8時間くらい浸したお酒です。唐の時代の中国から伝わって平安貴族の正月行事に使われていたものが江戸時代に一般庶民のたしなみにもなって全国に広まったようです。現代ではお屠蘇を飲むより、お神酒として日本酒を好む人も多いですね。お屠蘇を飲む前に身を清めるとか、呑む順番などしきたりがありますが、どういう方法でも家族揃って健康長寿を願うことが大切です。

渡辺薬局は 30日から新年4日までお休みします。どうぞ良い年をお迎えください。